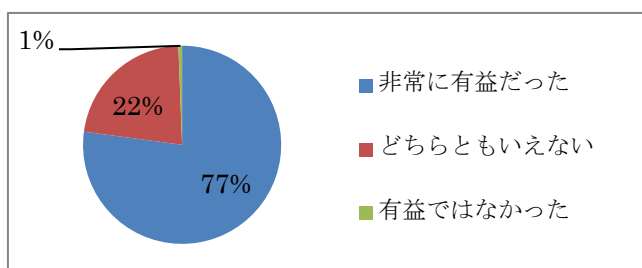


# アグリビジネス創出フェア 2011 の実績について

開催日 : 平成 23 年 11 月 30 日 (水) ~平成 23 年 12 月 2 日 (金) 3 日間

総参加者数 : 26,384 人

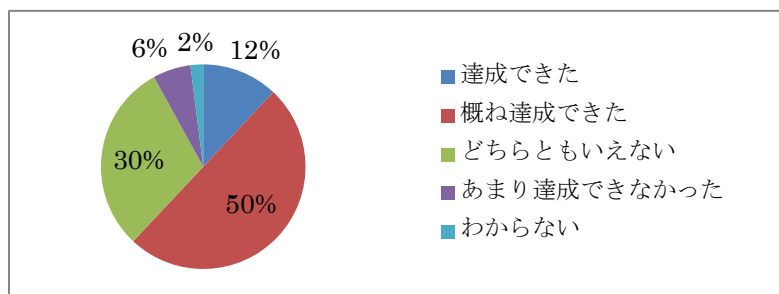
## 1 出展者のフェアへの出展の有益性について



出展者の約 8 割が、出展が非常に有益であったと回答。

どちらともいえないと回答した理由としては、来場者が少なかった、目的としていたマッチングの成約に至らなかった、コーディネーターとコミュニケーション不足に終わった等があった。

## 2 来場者の目的とその達成状況について



来場者の目的は、「新技術・研究成果の情報収集」、「興味のある出展者ブースへの訪問」、「共同研究・開発パートナーを見つける」、「事業提携先・取引先を見つける」、「抱えている課題を解決できそうな技術シーズを見つける」等が主なものであるが、それら目的は、6 割以上の来場者が達成できている。

どちらともいえないとしている来場者の意見として、昨年度と同じ内容の展示が見られた、実用化にまで時間がかかると思われる研究内容が多かった、適切な技術シーズがなかった 等、出展内容に係るものが多くを占めた。

## 3 マッチング実績について

フェア 2012 への出展を通じ具体的に成果を得た連携件数は 391 件、連携に向け対応継続中の件数が 662 件、合計 1053 件 (3 月 6 日時点)

#### 4 フェアで実施した産学連携促進手法について

それぞれの手法を利用した者に、連携促進への効果を調査した。その結果は以下のとおり。

	大変有効	有効	あまり効果はない	特段の効果はない
コーディネーターによるカウンター対応	5	53	17	12
マッチング・サポートツアー	4	33	10	11
出展者プレゼンテーション	14	73	13	4
ガイドブックの配布	31	110	13	8
アグロ・イノベーションとの同時開催（自由往来）	64	86	5	9
ホームページによる情報発信	26	110	20	16

効果を感じられなかった理由として以下のようなものがあつた（→以降は対応（案））。

- マッチング・サポートツアーに参加したかったが、コースに選定されなかった  
→ 本年度、ツアーコースに立候補する出展者は事前に募集したところであるが、周知徹底を行う必要。
- ツアー参加者とその後のコンタクトが取れるようにしてほしい  
→ ツアー終了後に名刺交換の時間を取るなどの対応が必要。
- 出展者が多く、ホームページから目的の情報を見つけにくかった  
→ わかりやすい情報提供を行う必要。

#### 5 来場者からのフェアに対する主なご意見（アンケート結果）について

フェアに対する来場者の主な意見と、その対応方針（案）は以下のとおり。

- ポスターだけの展示では興味が湧かない。 出展者は積極的に売り込みをした方がいい  
→ 本年度、出展規程ではブース内の説明者の常駐を必須としたが、来年度も同様の対応を求めたうえで、出展者説明会等において、効果的な出展方法や積極的な来場者へのコンタクトを促すことが必要。
- 体験参加できる企画が欲しい  
→ 来年度も、実物展示や簡易実験の積極的な実施を呼びかけ、実物展示はガイドブックに明記する等の工夫が必要。
- 参加者のソーシャルネットワークの提供を希望する  
→ 本年度はツイッターでの情報提供を実施したが、効果的なコミュニケーションツールの提供等について検討する必要。

（以上）